

■平成27年度事業報告（事業の状況）■

公益目的事業 本県木材関連産業の振興を図る事業

（1）情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技术情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行った。

1) 情報紙の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

（発行回数：3回(75～77号) / 発行部数：各号650部）

NO	発行部数	発行日	主 な 内 容
第75号	650部	H27. 7. 31	ネクスコ東日本との共同イベント / 運営協議会での所長挨拶 / プロジェクト研究テーマ / 木材基礎講座が開催 / スギ木製治山ダム現地調査 市街地木質化実証モデル事業 / コンサルタント指導事業 / 秋田県木連総会 / 機構の理事会、評議員会 ほか
第76号	650部	H27. 11. 30	木材乾燥技術力向上研修会を振り返って / 木高研関係者の学会での発表 / スギラミナ・活用研究会 / 小型CLT用の簡易プレス試作 木材乾燥技術向上研修会 / 業界ニュース / 木育講演会 / 曲げわっぱの連携協定 ほか
第77号	650部	H28. 3. 31	ネクスコ東日本秋田道の太平山パーキングのトイレの内装木質化工事 / 平成27年度木高研講演会 / 秋田スギCLTの公開実験 木材学会、森林学会での木高研関係の発表テーマ / 大潟村での木杭工法による地盤改良 / 木材人工乾燥の現地指導 / 木材加工推進機構の理事会概要 / ジャパンショップ・建築建材展のレポート ほか

2) ホームページの運用

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

更新回数：HP14回、FB37回 / トップページへのアクセス数：5,234件

（2）技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問を行った。

1) 相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

相談件数 85件

① 内容別内訳 (件)

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
11	6	16	52	85

② 業種別内訳 (件)

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
1	34	1	6	19	3	21	85

2) 現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いて現地指導を行った。

顧問指導 1社 / 技術コンサルタント指導 4社 / 乾燥技術指導 5社

① 顧問・技術コンサルタントによる指導

区分	指導日	対応者	業種	内容
顧問指導	H27. 12. 12	西村勝美 顧問	製材	<ul style="list-style-type: none"> この10年で国産材製材はどう変わったか スギラミナ製材の問題点と課題 スギ大径材利用へ宮崎県の取り組み 多用途な製品を国産材で逆代替へ
技術コンサルタント指導	H27. 5. 13	足立幸司 准教授	土木建築	防風柵、防風垣の施工性改善
	H27. 5. 25	山内秀文 准教授	建具	木製ドアのプレス後に発生する芯影の解消
	H27. 6. 1	足立幸司 准教授	張天	やわらかい木の製造方法
	H27. 6. 1	山内秀文 准教授	張天	突き板とアルミ板等の異素材の接着

② 乾燥技術指導

指導講師： 木材乾燥技術アドバイザー 小玉牧夫 氏

指導日	区分	指導企業	内容
H28. 3. 1 ～ 3. 2	現地指導	3社	<ul style="list-style-type: none"> 製品の狂いの原因と対策 乾燥スケジュールの見直し スギラミナ、板類乾燥の基本的考え方
H28. 3. 16 ～ 3. 17	現地指導	2社	<ul style="list-style-type: none"> メーカースケジュールとの比較 割れ、ねじれの対策 過乾燥の対策、燃料代低減策について
計		5社	

3) 企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

訪問企業数 115社

社 (延べ)

林業	製材	合板	集成材	フローリング	ブレイク	チップ	家具木工	建具	流通市場	工務店	その他	計
5	37	2	30	5	3	3	5	3	7	2	13	115

(3) 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

1) 公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題
H28. 2. 9	代キャ ッスル ホテル 能	112名	澁谷栄 准教授	精油など植物成分の分析依頼について
			岡崎泰男 准教授	スギ長尺スパン梁部材の開発
			林知行 教授/所長	開発関連のトピックス：CLT、MMP、クルビス、木杭工法等

2) 技術研修会

木材関連産業に係る行政施策や業界の動向、制度改正などに迅速適切に対応しようとする企業等を対象に、技術研修会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題・テーマ
H27. 6. 2	秋田市にぎわい交流館AU	105名	(株)喜多俊之デザイン研究所 代表取締役 喜多俊之 氏	ウッドファーストの時代 ～針葉樹の消費拡大に向けて～
H27. 12. 10	秋田市ルポールみずほ	52名	大建工業(株)品質保証部長 冬木敏夫 氏 ナイス(株)木材事業部長 青木良篤 氏 秋田県立大学木材高度加工 研究所所長 林 知行 氏	・ 建材メーカーの歩んだ「木質材料・建材」をふりかえり、これからを考える ・ ナイス(株)の木材・木構造の需要創造の取り組みに関して ・ CLT関連の話題と秋田県立大学木材高度加工研究所の研究トピックス

収益事業等

企業からの依頼により木材に係る試験を行う事業 ほか

(1) 依頼試験等事業

企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や熱伝導率などの物性試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定、ドアの音響試験など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施した。

受託件数：67件

分野	件数	主な試験内容
強度試験	27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集成材の曲げ試験 ・ CLTの曲げ試験・せん断試験 ・ 鉛直構面の面内せん断試験 ・ イスの強度試験 ・ 簡易型接合金物のせん断試験 ・ 木製架台の実大強度試験 ほか
物性試験	25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集成材の減圧加圧はく離試験 ・ 新規開発接着剤の接着性試験 ・ ボードの熱伝導率試験 ほか
その他	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 払田柵跡復元外柵南門門柱の腐朽度測定 ほか

■貸借対照表■

平成28年3月31日現在(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	578,107	3,488,252	△ 2,910,145
定期預金	250,000	250,000	0
未収金	3,353,663	2,655,133	698,530
流動資産合計	4,181,770	6,393,385	△ 2,211,615
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	39,603,322	8,480,922	31,122,400
基本財産定期預金	18,150,000	18,150,000	0
基本財産投資有価証券	674,258,554	638,338,570	35,919,984
基本財産合計	732,011,876	664,969,492	67,042,384
(2) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
その他固定資産合計	144,000	144,000	0
固定資産合計	732,155,876	665,113,492	67,042,384
資 産 合 計	736,337,646	671,506,877	64,830,769
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	416,793	393,703	23,090
預り金	103,938	95,405	8,533
前受金	0	210	△ 210
流動負債合計	520,731	489,318	31,413
負 債 合 計	520,731	489,318	31,413
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	600,000,000	600,000,000	0
基本財産評価益	132,011,876	64,969,492	67,042,384
指定正味財産合計	732,011,876	664,969,492	67,042,384
(うち基本財産への充当額)	(732,011,876)	(664,969,492)	(67,042,384)
2. 一般正味財産	3,805,039	6,048,067	△ 2,243,028
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	735,816,915	671,017,559	64,799,356
負債及び正味財産合計	736,337,646	671,506,877	64,830,769